

看護職員処遇改善評価料の施設基準に係る届出書添付書類（新規・3、6、9、12月の区分変更）

1 保険医療機関コード
保険医療機関名

2 該当する届出

算出を行う月

☐ 新規 ☐ 区分変更 ☐ 3月 ☐ 6月 ☐ 9月 ☐ 12月

※ 新規の場合、届出月以前で最も近い月をチェックすること。

3 該当するものを選択すること（新規届出時以外は記載を省略して差し支えない。）

- ☐ 次の(イ)及び(ロ)のいずれにも該当すること。
- (イ) 区分番号「A205」に掲げる救急医療管理加算に係る届出を行っている
- (ロ) 救急搬送実績が、年間で200件以上であること
- 救急搬送実績: 件（期間: 令和 年度）
- ☐ 救命救急センター、高度救命救急センター又は小児救命救急センターを設置していること

4 看護職員等の数、延べ入院患者数、【A】の値

① 算出の際に用いる看護職員等の数、延べ入院患者数の期間(いずれかを選択)

- ☐ 前年12月～2月
- ☐ 3～5月
- ☐ 6～8月
- ☐ 9～11月

② 看護職員等の数 人（前回届出時 人）

※ 算出対象となる3か月の期間の各月1日時点における当該保険医療機関に勤務する看護職員等（保健師、助産師、看護師及び准看護師）の常勤換算した数の平均の数値（小数点第二位を四捨五入）を記載すること。

※ 新規届出時は前回届出時欄への記載は不要。

③ 延べ入院患者数 人（前回届出時 人）

※ 算出対象となる3か月の期間の1月当たりの延べ入院患者数の平均の数値（小数点第二位を四捨五入）を記載すること。

※ 自由診療の患者については、計上しない。公費負担医療や労災保険制度等、診療報酬点数表に従って医療費が算定される患者については、計上する。

※ 新規届出時は前回届出時欄への記載は不要。

④ 【A】の値 （前回届出時 ）

$$\text{【A】} = \frac{\text{看護職員等の賃上げ必要額(当該保険医療機関の看護職員等の数(②) \times 12,000 \text{円} \times 1.165)}{\text{当該保険医療機関の延べ入院患者数(③) \times 10 \text{円}}$$

5 前回届け出た時点との比較

- 前回届出時と比較して、
- ☐ 看護職員等の数(②)の変化は1割以内である。
- ☐ 延べ入院患者数(③)の変化は1割以内である。
- ☐ 【A】の値(④)の変化は1割以内である。

6 4により算出した【A】に基づき、該当する区分

【記載上の注意】

5のいずれにも該当する場合は、区分の変更を行わないものとする。